

① ^{ぶん} ^よ 文を読みながら「さ・し・す・せ・そ」に○(まる)をつけましょう。

わんぴというよびかたでしたしまれている、おだえいいちろうさんによってえがかれているにほんのまんがのわんぴーすは、せんきゅうひゃくきゅうじゅうななねんから「しゅうかんしょうねんじゃんぷ」でれんさいがはじまりました。

ものがたりでは、かいぞくおうをゆめみているもんきー・でい・るふいと、そのなかまたちとともにそうだいなぼうけんがくりひろげられています。

おだえいいちろうさんは、おとうさんがえをえがくことをしゅみにしていたことにえいきょうされて、ちいさいころからえをえがきはじめ、よんさいのときに、まんがかというしごとをしたことで、まんがかになることをゆめみることになりました。

② それぞれの^{かな} ^{かず} ^{かぞ} 仮名の数を数えて、^{すうじ} ^か 数字を書きましょう。

さ	し	す	せ	そ
<input type="text"/>				

③ ^{なに} 何について書かれた文でしたか？^{ぶん} ^{おし} 教えてください。



..... 折り線

【子供向け】 文章 - ひらがな版：仮名拾い（かなひろい） 課題プリント その8 - さ行編

答え ② さ：7 し：10 す：2 せ：1 そ：2

③ ONE PIECEについて書かれた文。など